

第2次
田原市
総合計画

こども版

TAHARA Garden

うるおいと活力あふれるガーデンシティ

～みんなが幸せを実現できるまち～

2024 > 2033

未来の田原市は
どんなまちに
なるのかな？





まちづくりってなんだろう？

みんなは、自分たちが暮らしている「まち」を意識したことはありますか？
日本各地には、たくさんの「まち」があり、田原市もそんな「まち」の一つです。

「まち」にはいろいろな人が集まって、
協力し合い、支え合いながら暮らしています。

では、「まちづくり」ってなんでしょう？

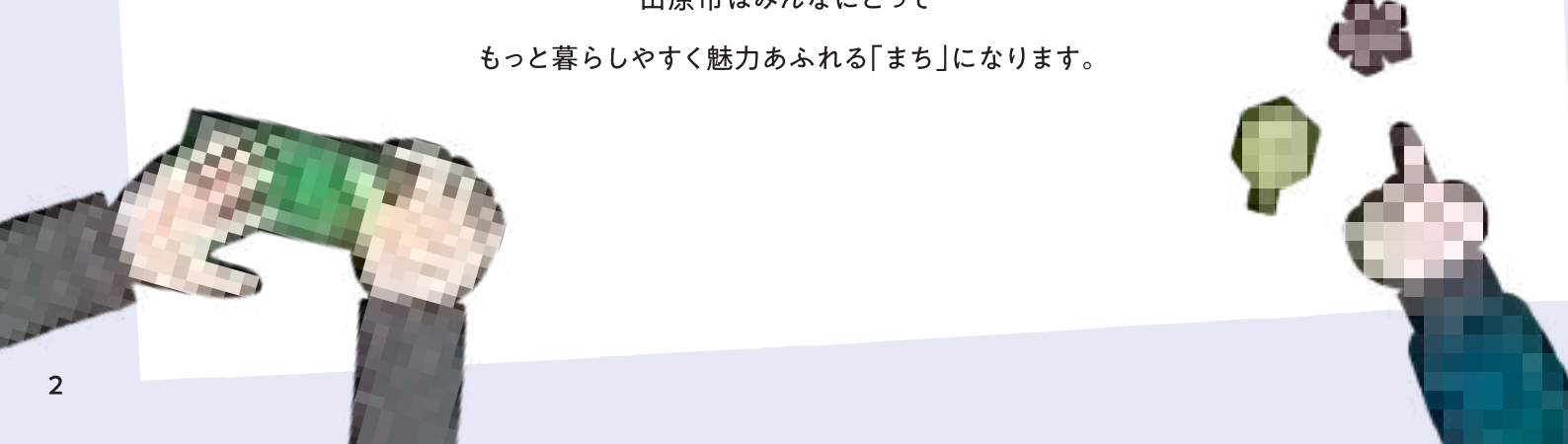
簡単に言うと、自分たちが暮らす「まち」を
もっと暮らしやすく魅力あふれる「まち」にするために
いろいろな取り組みをすることです。

例えば、ごみ拾いやボランティア、
まちの花壇の手入れをすることなども「まちづくり」の一つです。
そこに暮らす人たちが、幸せで元気に生活できるように、
たくさんの方がいろいろな方法を考えています。

「まちづくり」はその「まち」に暮らす全ての人に関わっています。
もちろん、みんなもその中の一人です。

この冊子は、田原市が取り組む「まちづくり」の基本的な考え方となっている
総合計画をみんなに知ってもらうためのものです。

この冊子を読んで、みんなが「まちづくり」に興味を持って
自分にできることから少しでも取り組むことで、
田原市はみんなにとって
もっと暮らしやすく魅力あふれる「まち」になります。



総合計画とは...

「まちづくり」を進めるための計画書

総合計画とは田原市をより暮らしやすく魅力のあるまちにするために、誰がどんなことをしていくのかなどをまとめた計画書のことで、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つに分けられており、それぞれ大切な役割を持っています。

計画期間

2024 >>> 2033

10年間の計画

⇒ 詳しくは P14へ!

総合計画は、2024(令和6)年から2033(令和15)年までの10年間をかけて取り組む、長期間にわたる計画です。最初に決めた計画を10年間進めるのではなく、一定期間で見直しを行いながら、より効果的に「まちづくり」を進められるように取り組みます。

書いてみよう



Q 田原市の特徴や魅力は何かな?

Q 「まちづくり」にはどんな取り組みがあるかな?

みんなのような若い人たちが「まちづくり」に参加することはとても大切です。みんなが考えた田原市の特徴や魅力、まちづくりの取り組みは、田原市をもっと暮らしやすい素敵なまちにするために必要な視点です。

それではこれから、田原市がどんなまちづくりに取り組んでいるのか一緒に見てみましょう。

まちの未来を
考えよう

知ってる？ 田原市のあれこれ

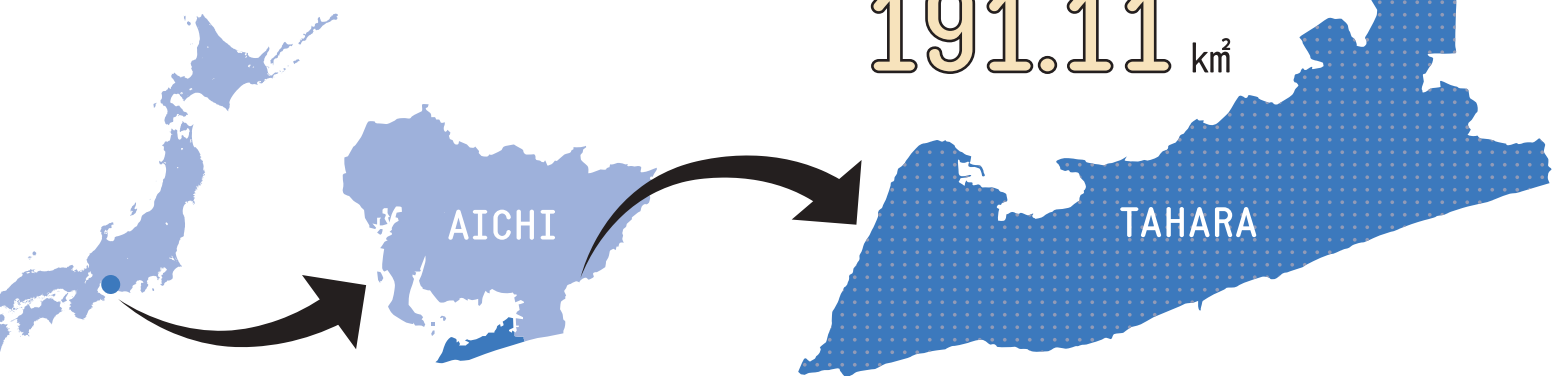
みんなが暮らしている田原市の特徴を知っていますか？

自然や歴史、ものづくりなど、日常の暮らしの中だけでは見られないたくさんの魅力や特徴があります。そんな田原市のあれこれを詳しく見てみましょう。

総面積

県内で
7番目に広い!

191.11 km²

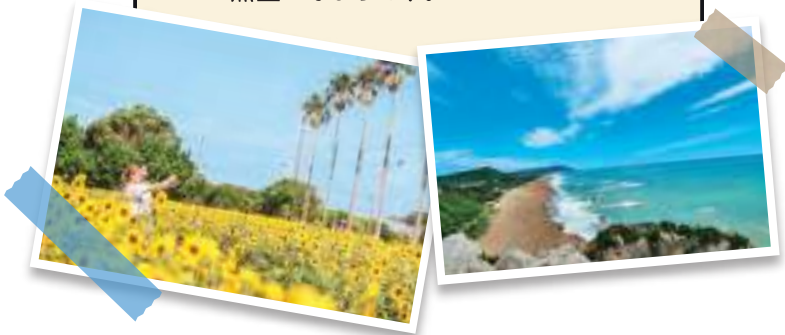


田原市がある渥美半島は伊勢湾に突き出した、横に長い形をしています。東西30km、南北10.1kmで、総面積は191.11km²。愛知県内では、7番目に広いまちです。

自然

海と山に囲まれた 自然豊かなまち

愛知県の南端にある田原市は、周りを海に囲まれた渥美半島のほぼ全てが市域になっています。海や山を身近に感じることができる自然豊かなまちです。



歴史

歴史が息づくまち

田原市には3万年以上前の旧石器時代の遺跡やたくさんの陶器が作られた渥美古窯など数多くの文化財があります。また、田原藩家老の渡辺華山や漁夫歌人の糟谷磯丸など、ゆかりの偉人たちがつくった歴史・文化が今もまちに息づいています。



田原祭り

からくり人形をのせた山車が町中を歩く、江戸時代から続く伝統的な祭りです。

渡辺華山

江戸時代後期に学者、画家、政治家として活躍した田原藩の家老です。



総人口

■ 令和5年12月末

58,848 人

田原市の人口は2005(平成17)年から少しずつ減っています。若者が減って高齢者が増えてきています。

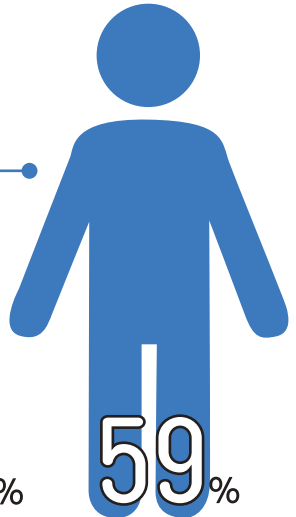
15~64歳 (生産年齢人口) 34,491 人

65歳以上 (老年人口) 17,528 人

0~14歳 (年少人口) 6,829 人

11% 30%

59%



産業

ものづくりのまち

日照時間が豊富で暖かい気候の田原市は野菜や魚がよくとれるまちで、中でも農業の産出額は全国トップクラスです。海の近くにはさまざまな工場が建ち、自動車をはじめ数多くの製品を作っています。



花き産出額は全国1位!



極上の甘み キャベツ



太陽の恵み たっぷりメロン

農業

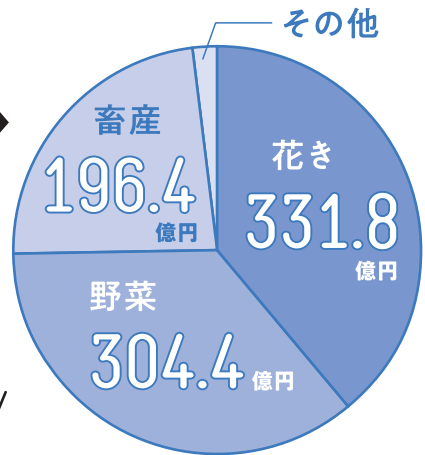
■ 令和3年

農業産出額

849 億円



全国 2 位



ミネラルたっぷり 渥美半島の大あさり



工業

■ 令和3年

県内

5 位

製造品出荷額等

1兆7,911 億円

水産業

■ 平成30年

年間漁獲量

9,688 t 県内

3 位



これからの未来はどうなる？

田原市の未来を考えるためには、日本全体の社会の流れを知ることが必要です。人口の減少や環境問題の深刻化、ライフスタイルの多様化など、未来に向けてたくさんの方が変わってきています。

人口減少・少子高齢化の本格的な到来

日本全体で人口が減っている中で、少子化や働き手不足などが深刻になっています。活力のあるまちにするには若者がやりたいと思う仕事づくりや地域の魅力を活かした、人口を増やす取り組みが重要です。

ライフスタイルや価値観の多様化

ライフスタイルや結婚、仕事に対する考え方が多様になっていることで、人と人とのつながりが弱くなることが心配されています。そのため、市民や団体、学校や企業などが協力し合うことが求められています。

地球規模での環境問題の深刻化

地球温暖化や海洋プラスチックごみなどが問題になっています。これからは再生可能エネルギーの活用や脱炭素社会に向けた取り組みを進めながら、環境を守る意識を高めることが大切です。

安心・安全に対する意識の高まり

全国各地で地震や大雨などの自然災害が増えていることや、新型コロナウイルスなどの感染症の流行、詐欺事件やインターネット犯罪などに対して、地域レベルで意識を高める必要があります。





用語
解説

SDGs(エスディーゼズ)...

持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals」の略で、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された、2030年までの17の目標(ゴール)と169のターゲットから構成された国際社会全体の開発目標。地球上の「誰一人取り残さない」ことを基本理念としている。

経済情勢や 産業構造の変化

人口が減ることで心配される働き手の不足を補うために外国人を雇用したり、工場を海外に移転するなど、海外との関わりが強くなると予想されています。そのため、グローバル化などに対応した産業の仕組みに転換することが必要です。

情報通信技術の進展

インターネットや携帯電話は、家庭や職場など社会全体で使われています。今後は、住民サービスなどを向上させる手段としても活用することで、全ての人が暮らしやすい社会にしていくことが大切です。

人生100年時代を見据えた 誰もが活躍できる社会

人生100年時代を迎え、全ての年代が生涯にわたって働いたり、学習することができ、さまざまな生き方を受け入れる社会の実現と、いつまでも活躍できるよう、健康づくりに取り組むことが求められています。

持続可能なまちづくり

限られた財源の中で、必要な施設・インフラ機能を維持していく必要があります。また、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGs*を推進するため、全ての人が協力し合って持続可能なまちづくりに取り組むことが求められています。



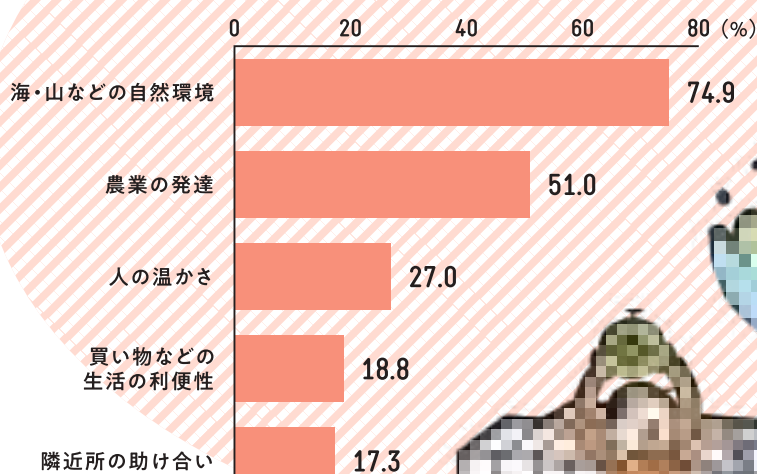
田原市のみんなが 考えていること

田原市に暮らす人たちの意見をさまざまな方法で調査しました。優れていると感じることや欠けていると感じていることなど、みんなの意見を取り入れて、より暮らしやすいまちにしていきます。

GOOD

「海・山などの自然環境」や「農業の発達」が優れていると感じている意見が多く、田原市の特徴・魅力として誇りに感じていることがわかります。

■ 田原市が優れていると感じること

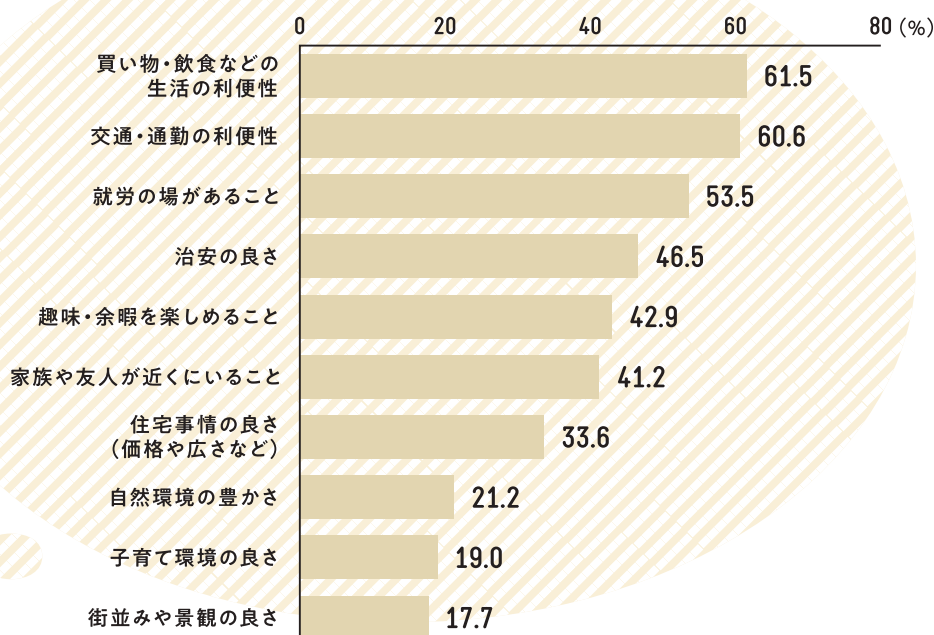


市民意

若者WEBアンケート

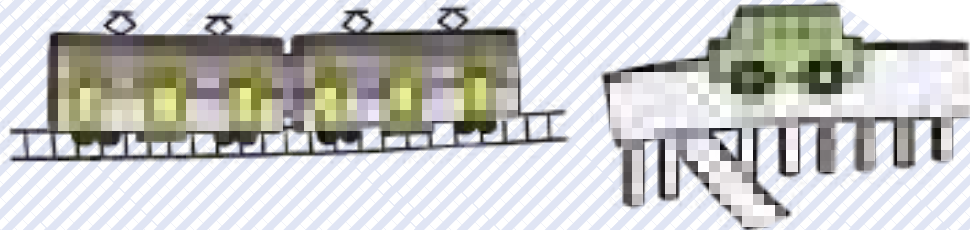
若者WEBアンケートでは、定住する場所に求めたいものとして「買い物・飲食などの生活の利便性」や「交通・通勤の利便性」が多く、若者が住み続けたいと思うまちにするには、これらの課題解決が必要です。

■ 定住する場所に求めたいもの

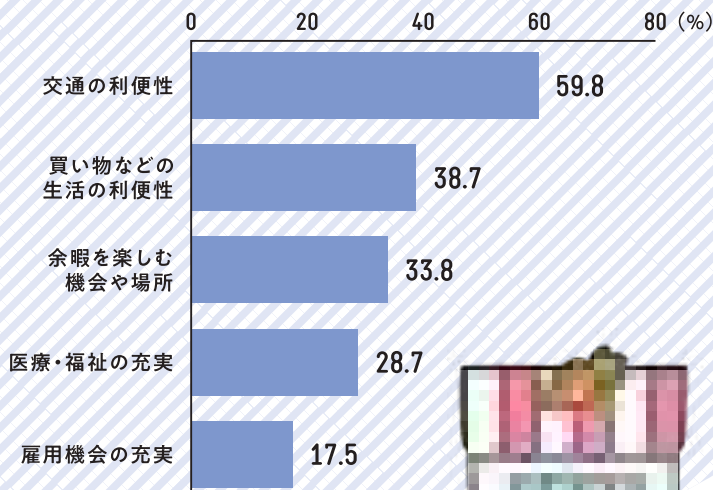


BAD

交通や買い物など生活の利便性が欠けているという意見が多く、生活の便利さを求めていることがわかります。



■ 田原市に欠けていると感じること



識調査

意見聴取ボード

買い物ができる場所や遊び場、子育て・教育施設を求める意見が多く、田原市に暮らす人たちがこれらの分野に高い関心を持っていることがわかります。

飲食・衣類・雑貨など、買い物できる場所がほしい

レジャー・遊び場がほしい

小さな子どもが遊べる公園があるといいな

公園に関すること

映画館がほしい!

コンビニがほしい!

大きなショッピングモールがほしい!

観光に関すること

子育て・教育に関すること

子育てしやすい環境に!

出産できる病院が渥美病院だけ

公共交通に関すること

バスや電車の運賃を安くしてほしい

電車でもっと便利に移動したい

道路・交通安全施設に関すること



田原市が目指すまち

将来都市像

うるおいと

将来都市像「うるおいと活力あふれるガーデンシティ～みんなが幸せを実現できるまち～」を実現した未来の田原市は、海と緑に包まれた渥美半島で、活発な産業と豊かな暮らしができるまちになっています。田原市に暮らすみんなで協力してまちづくりに取り組みましょう。

まちづくりの方針

田原の強みを活かしたまちづくり

田原市の豊かな自然や農業、豊富な水産資源、ものづくりなどの魅力を活かすことで、田原市に暮らすみんなに、さらにまちを好きになってもらいます。

〇〇〇

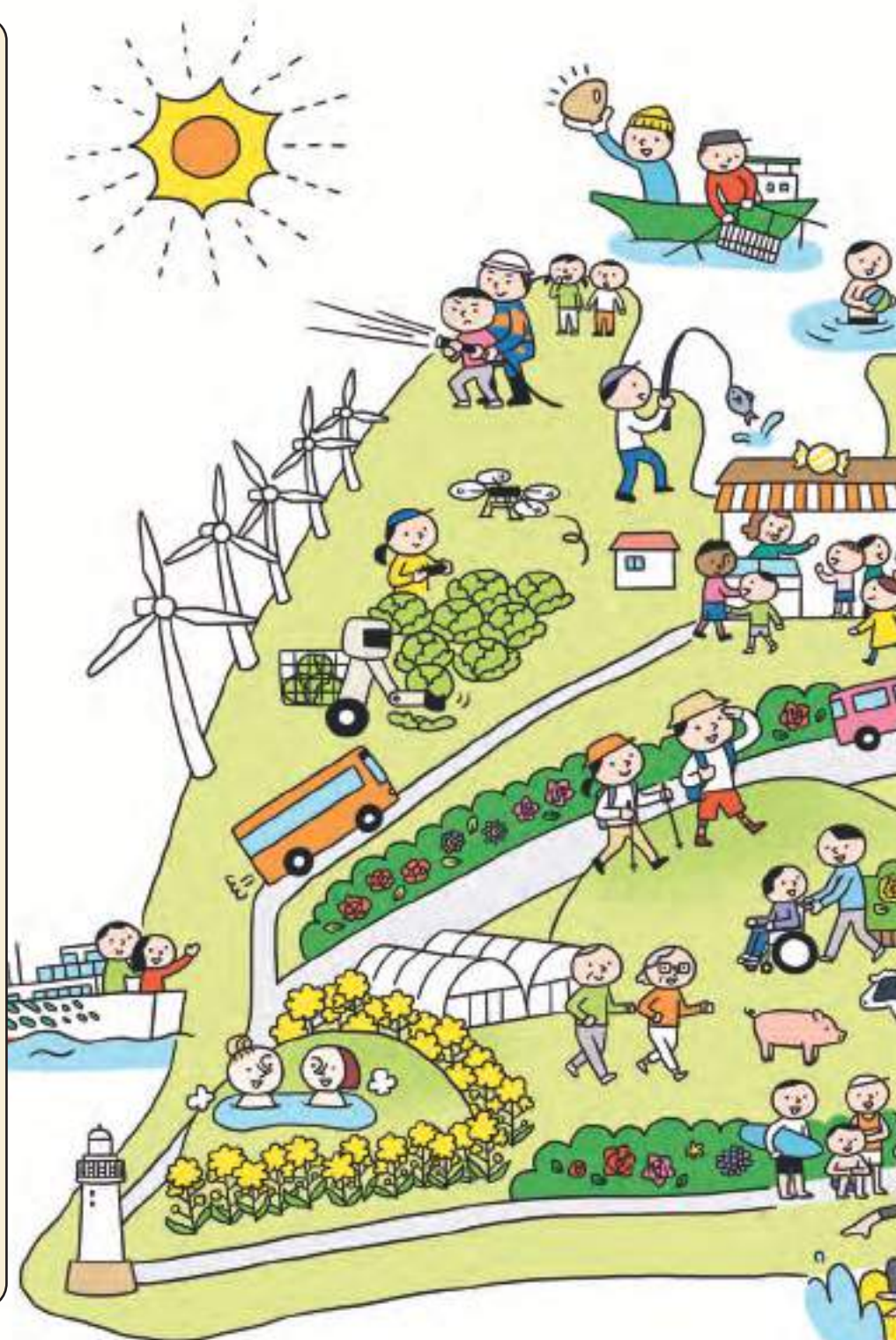
参加と協働による持続可能なまちづくり

田原市に暮らすたくさんの人と協力し合い、それぞれの役割を果たすことで各分野を盛り上げ、豊かさと暮らしやすさを若い世代につなぎます。

〇〇〇

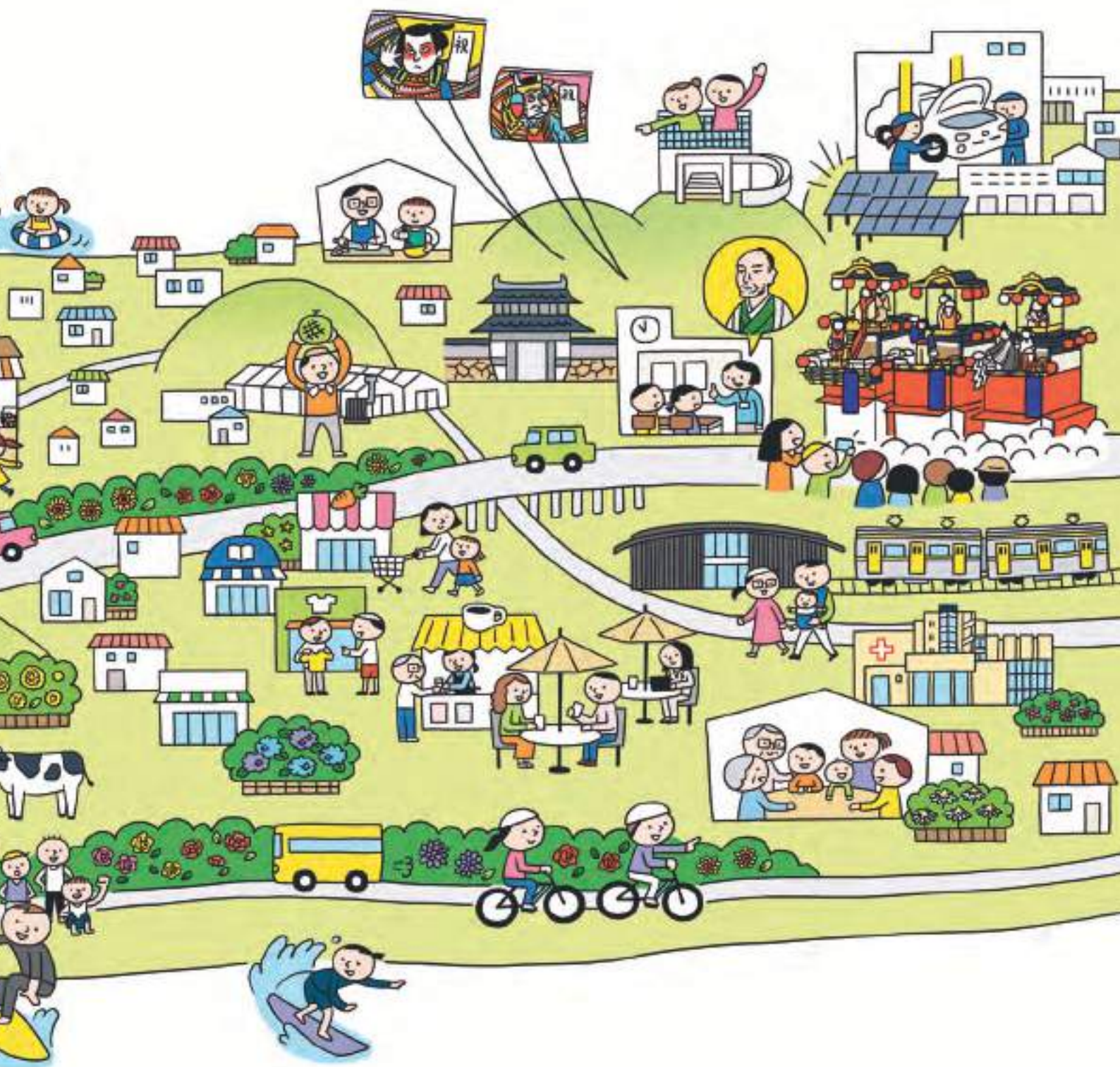
連携により成長し続けるまちづくり

市役所などの行政サービスに民間企業の力を取り入れるとともに、産(企業)・学(大学・研究機関)・官(行政)連携や広域連携など、利便性と効率性の高い行政基盤をつくり上げます。



みんなが幸せを
実現できるまち

活力あふれるガーデンシティ



重点テーマ

重要な視点

DX*の推進

デジタル技術を活用した
効率的で便利な
社会の実現

重点テーマとは、総合計画の中で特に力を入れるもので、将来都市像実現のための大切な取り組みです。右の4つの項目は、重点テーマに取り組むにあたっての重要な視点で、この視点を持ちながら取り組みを進めます。

重点テーマ1

住み続けたい まちづくり

人口減少に適応した
活力のあるまち

若者たちの希望が実現できるよう、安心して子育てができる環境をつくり、田原市での暮らしに魅力を感じてもらえるような居住環境づくりに取り組みます。また、これから予想される人口減少社会に向けて、デジタル技術の活用などを進めます。

重点テーマ2

住んでみたい・ 訪ねてみたい まちづくり

地域ブランド力を高めた
魅力あふれるまち

田原市は美しい自然環境を持ち、全国トップクラスの産出額の農業、観光、スポーツ、歴史・文化などの多彩な資源があるまちです。これらのさまざまな魅力をさらに高めることで、田原市の知名度などを上げ、魅力あふれるまちづくりに取り組みます。

重点テーマ3

未来につながる まちづくり

誰もが暮らしやすい
持続可能なまち

価値観が多様化する中で、経済的な豊かさに加えて、幸せとを感じる人が増えてきています。そのため、全ての人が暮らしやすく、生きがいを持って活躍できる環境づくりに取り組み、これからもたくさんの人が住み続けることができるまちづくりを進めます。



用語
解説

DX(デジタル・トランスフォーメーション)… デジタル技術を浸透させ、生活のあらゆる面を良い方向に変化させること。

脱炭素社会 の実現

環境にやさしい
エネルギーを活用できる
社会の実現

SDGs や Well-being* の 理念に基づく社会の形成

誰一人取り残さない
社会の実現

多様な主体との 連携・協働

多様な人々が
協力して取り組む
まちづくり

若年層の定住促進

若い世代が
魅力を感じ・
暮らしたくなるまち

子育て環境の充実

希望する人が安心して
子どもを産み、
育てることができるまち

人口減少社会への適応

デジタル技術などを
活用した
便利なまち

段階ごとに効果的な取り組みを展開

まちの
活力の
維持

市内への 発信

まちへの
愛着の醸成

田原市の多彩な 魅力・価値

市外への 発信

観光誘客
関係人口拡大
移住促進

波及効果

まちのブランド力の向上

波及効果

支える・支えられる
関係性

多様な
参画機会

多様な
居場所



生きがいを感じられる場・
機会

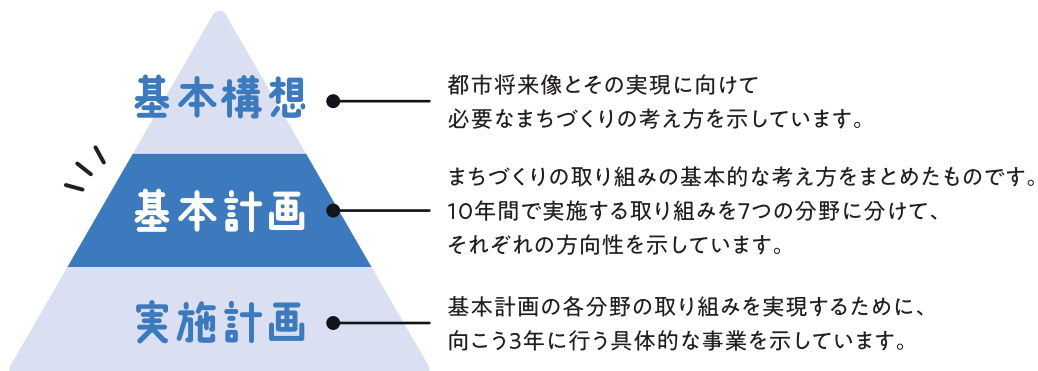
地域の
セーフティネット*機能

誰もが取り残されない、
個人が尊重される社会環境・風土

Well-being(ウェルビーイング)… 身体的・精神的・社会的に「良い状態」であることや、個人や社会全体が良い状態であることなどの幅広い概念。

セーフティネット… 社会保障制度などに代表される、網の目のように救済策を張ることで、人々に安全や安心を提供し、保護するための仕組み。

基本計画ってなに？



1

市民環境

- 市民協働・男女共同参画の推進
- 地域防犯・交通安全の推進
- 環境共生の推進
- 生活衛生の向上
- 資源循環の推進

分野名

施策名

2

健康福祉

- 健康づくりの推進
- 医療の充実
- 子ども・子育て支援の充実
- 地域福祉の充実
- 障がい者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 社会保障の充実

3

教育文化

- 学校教育の充実
- 生涯学習の充実
- スポーツの振興
- 青少年健全育成の推進
- 芸術文化の振興
- 文化財の継承



☑ 目標指標で達成度をチェック!

目標指標は、将来都市像の実現に向けてどれくらい取り組みが進んでいるかを判断する基準の値です。数値が目標値に近づくほど、みんなで目指す田原市に近づいていることになります。

例 目標指標

まちのイベントに参加した人数

現状値 (令和4年)

246人

>>>

目標値 (令和15年)

350人

4

産業経済

- 農業の振興
- 水産業の振興
- 工業の振興
- 商業の振興
- 観光の振興
- 労働環境・消費者支援の充実

5

都市整備

- 交通基盤の整備
- 公共交通の充実
- 港湾・河川・海岸の整備
- 市街地の活性化
- 地域・住環境の整備
- 上下水道の充実
- 自然環境の保全
- 緑化・景観形成の推進

6

消防防災

- 消防・救急体制の充実
- 防災・減災体制の充実

7

行財政

- 国際化・多文化共生の推進
- 情報体制の充実
- 広域連携の推進
- 行財政運営

1. 市民環境

施策名

- 市民協働・男女共同参画の推進
- 地域防犯・交通安全の推進
- 環境共生の推進
- 生活衛生の向上
- 資源循環の推進

市民のまちづくりへの参加と協力により住みやすい環境を実現するとともに、地域での防犯対策や交通安全の意識を高め、安心・安全なまちをつくりまします。また、循環型社会に向けた取り組みを進めて、「たはらゼロカーボンシティ」の実現を目指します。



取り組みの例①

！ 地域のまちづくり活動に参加しよう

自治会やコミュニティ協議会では、地域の清掃活動や高齢者の見守りなど、暮らしやすい地域づくり活動*を行っています。さまざまな地域活動を通じて市民同士のつながりを深めています。

目標指標

地域づくり活動参加延べ人数

現状値 (令和4年)

50,177人

>>>

目標値 (令和15年)

55,000人

PICK UP

田原市には、まちに暮らす人たちが自主的に活動する団体が多くあり、市民活動団体交流イベント「しみんのひろば」の開催や「田原市民活動支援センター」での支援など、市民活動の活性化に取り組まします。



取り組みの例②

！ 家庭ごみの排出を減らそう

ごみの分別方法やリユース・リデュース・リサイクルの3R活動を知ってもらい、家庭から出るごみの量を減らすことに取り組まします。また、ごみ処理の公平化のため、ごみ有料化やごみ処理手数料の見直しを行います。

目標指標

市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量

現状値 (令和4年)

522 g/人・日

>>>

目標値 (令和15年)

430 g/人・日

PICK UP

各地域の「廃棄物減量等推進員」が、ごみを減らしたり正しく捨てるために、各ごみステーションでの立ち番や分別指導などの活動に取り組んでいます。ごみを減らすためには一人ひとりの意識が大切です。



市民協働 たはらゼロカーボンシティ

田原市の全ての人々が協力して、2050年までに排出する二酸化炭素量を実質ゼロにする「たはらゼロカーボンシティ」を目指します。「たはらエコチャレンジ宣言」を活用して、一人ひとりが暮らしの中で省エネに取り組んでいます。



用語解説

地域づくり活動…

市民館まつりや地域の見守り活動など、地域の活性化や連携促進を目的に、コミュニティ協議会が自主的に行う活動。

2.健康福祉

施策名

- 健康づくりの推進
- 医療の充実
- 子ども・子育て支援の充実
- 地域福祉の充実
- 障がい者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 社会保障の充実

結婚・妊娠・出産・子育てに対する支援を充実させることで、若い世代が安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを進めます。また、健康意識の向上、地域医療体制の充実を図り、誰もが安心して暮らすことができる共に支え合う社会を目指します。



取り組みの例①

！ 安心して子育てできる まちをつくろう

妊娠・出産・子育てについて相談できる場所や子育てに関係する施設が充実することで、田原市に暮らすママやパパが子育てに困らず、子どもたちも元気に育ち、みんなが笑顔で暮らせる環境をつくります。

目標指標

地域子育て支援センター利用組数

現状値 (令和4年)

12,830 組

目標値 (令和15年)

13,000 組

PICK UP

ファミリー・サポート・センターや子育て支援センターなどでは、同世代との交流やつながりづくり、専門スタッフへの相談ができるなど、地域の人みんなで子育て



ができる環境が整っています。

取り組みの例②

！ 高齢者がいきいき暮らす 社会にしよう

高齢者が住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らせるように、介護や介護予防、住まい、医療、生活の手助けなどについてまとめて取り組む「地域包括ケアシステム*」がさらに充実したまちづくりを目指します。

目標指標

介護を必要としない高齢者の割合

現状値 (令和4年)

86.3 %

目標値 (令和15年)

90.0 %

PICK UP

各地域の「老人クラブ」では、身近な高齢者への声かけや地域の清掃活動、交流活動などが行われており、高齢者が明るく元気にいきいきと暮らせるまちの実現を目指しています。



市民協働 子育てサークル

市内の各地域で、市民活動団体などによる「子育てサークル」が開催されており、子育てをしているママやパパが情報交換をしたり、子ども同士で遊んだりすることで、子育ての悩みや不安などを解消していくための活動を行っています。



3. 教育文化

施策名

- 学校教育の充実
- 生涯学習の充実
- スポーツの振興
- 青少年健全育成の推進
- 芸術文化の振興
- 文化財の継承

子どもたちがいきいきと学び、確かな学力や豊かな心を育めるよう、保護者・学校・地域が連携して、特色を活かした教育を推進します。また、人生100年時代を豊かに暮らせるよう、生涯学習やスポーツ、芸術・文化活動を促進し、田原市ならではの歴史・文化・風土を継いでいきます。



取り組みの例①

！安全で豊かな教育環境をつくろう

国の「GIGAスクール構想*」に合わせ、児童・生徒一人につき1台のタブレット型パソコンを使った授業を行っています。また、農業などの特徴を活かして、地域の人々が先生として授業を行うふろさと学習を進めています。

目標指標

給食で地元食材を使用する割合

現状値 (令和4年)

41.5%

目標値 (令和15年)

>>> 45.0%

PICK UP

専門的な科目の教育や少人数指導など、状況にあった教育を進めます。また、安心して学校に通えるように地域



の「見守り隊」による見守り活動や、安心・安全な給食の提供、おいしく健康的な献立づくりに取り組みます。



市民協働 コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、学校・保護者・地域の人々が協力し、たくさんの人の意見を取り入れながら、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。会議や見学などを通して地域の意見や学校の現状を共有し、よりよい学校を目指しています。



取り組みの例②

！誰もがスポーツに親しめる環境をつくろう

学校施設の開放や各種イベントなど、スポーツを楽しむ機会の提供により、田原市に暮らす人たちがスポーツに親しめる環境をつくれます。また、大会の開催や参加選手との交流の機会をつくるなど、市内のスポーツを活性化します。

目標指標

市主催スポーツイベント参加者数

現状値 (令和4年)

5,259人

目標値 (令和15年)

>>> 8,000人

PICK UP

各地域の「スポーツ推進委員」は、スポーツ大会の企画・運営やスポーツ活動の活性化に



取り組んでいます。また、「地域スポーツ普及員」はスポーツを活用した交流活動を進めています。



用語解説

GIGAスクール構想…

1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、協働的な学びと個別最適な学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想。

4. 産業経済

施策名

- 農業の振興
- 水産業の振興
- 工業の振興
- 商業の振興
- 観光の振興
- 労働環境・消費者支援の充実

農業・漁業・工業などの産業を活性化させるとともに、地域資源の発見や起業支援など、新たな産業を創り出すことに取り組みます。また、自然環境やスポーツ、歴史・文化などの魅力的な観光資源を積極的に活かして、田原市に訪れる人を増やします。



取り組みの例①

！ 「日本一の農業産地」を目指す

働き手の確保や育成などによって、元気な農業者を次の世代へとつなげるとともに、作る量を増やしたり、新しい技術を活用したりすることで「日本一の農業産地」を目指します。田原市の農業の魅力を高めることで、農業の活力を維持します。

目標指標

農業産出額

現状値 (令和3年)

849 億円



目標値 (令和15年)

900 億円

PICK UP

田原市産の農産物の魅力をPRして、ブランド化を進めています。また、JA愛知みなみ（愛知みなみ農業協同組合）と連携して農産物の知名度向上や販売場所を増やす活動に取り組んでいます。



取り組みの例②

！ 地域資源を磨いて観光を盛り上げよう

伊良湖温泉を核として、農業・漁業・自然環境などのさまざまな資源を磨き上げ、渥美半島全体で観光を盛り上げることで、田原市に訪れる人を増やします。

目標指標

観光入込客数

現状値 (令和4年)

2,195 千人



目標値 (令和15年)

3,600 千人

PICK UP

観光を盛り上げる取り組みの一つである、観光体験博覧会「たはら巡り～な*」では、田原市でしか体験できないプログラムを実施し、渥美半島の魅力の再発見につなげています。



市民協働 花育教室

ふるさと教育の一つとして、田原市産の花を活用した花育教室を行っています。田原市で生産されている菊などに触れ親しむことで、「花きの産出額日本一のまち」であることを実感できる取り組みです。



用語解説

たはら巡り～な…

“何度もぐるっと巡ってほしい”という思いを込めて名付けられ、「花・農業・漁業」「自然」「手づくり」「満喫」をテーマに、「田原ならではの」体験プログラムを一堂に集めたもの。

5. 都市整備

施策名

- 交通基盤の整備 ●公共交通の充実 ●港湾・河川・海岸の整備 ●市街地の活性化
- 地域・住環境の整備 ●上下水道の充実 ●自然環境の保全 ●緑化・景観形成の推進

市街地と周りの地域が共生する機能的で効率的なまちをつくり、暮らしやすい環境を整えて、市外から移り住む人を増やします。また、道路や鉄道、バスなどの公共交通の確保、隣の市から渥美半島の先端まで伸びる「渥美半島道路」の早期実現を目指します。



取り組みの例①

！誰もが安心して移動できるまちをつくろう

高齢者や学生など自動車を運転できない人や観光客などに対して公共交通を提供し、誰もが安心して移動できるまちを目指します。一人ひとりが移動手段の一つとして意識し、実際に利用することで公共交通の確保につなげます。

目標指標

市内公共交通利用者数

現状値 (令和4年)

127 万人

>>>

目標値 (令和15年)

148 万人

PICK UP

田原市では、鉄道や路線バスなどのほかにコミュニティバス「ぐるりんバス」を運行しています。全ての人が



便利に移動できるように、地域や利用者の目線に立った公共交通の実現を目指します。

取り組みの例②

！みんなで緑や美しいまちを守ろう

市民のみなさんと協力して、自然やまちの緑、美しい景観を守ります。また、「空き家・空き地バンク*」などを活用し、安心して住みやすい住環境をつくれます。

目標指標

沿道花壇数

現状値 (令和4年)

657 か所

>>>

目標値 (令和15年)

720 か所

PICK UP

花き産出額日本一の田原市では、「花のまち」を目指し、道路の花壇を整備して花いっぱいの景観を保っています。また、公園などの清掃活動に各自治会で取り組んでいます。



市民協働 アダプトプログラム(里親制度)

環境美化を進めるために取り組むアダプトプログラム(里親制度)に個人や企業、団体が登録。道路や河川などを自らの「養子」とみなして、清掃や除草、花壇の整備など美化活動に取り組んでいます。



用語解説

空き家・空き地バンク…

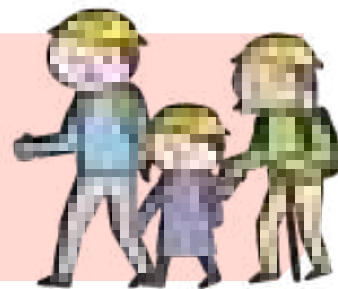
空き家・空き地を売りたい人、貸したい人が市の「空き地・空き家バンク」に登録し、その物件をホームページなどで全国に紹介する事業。

6. 消防防災

施策名

- 消防・救急体制の充実
- 防災・減災体制の充実

地域の防災力を高めるため、防災・減災の意識の向上と自主防災組織の機能強化、防災基盤の整備などを進めます。また、自然災害から田原市に暮らす人たちの命などを守るため、田原市の地形の特性や地域の実態に合わせた消防・救急体制の充実を目指します。



取り組みの例①

！ 消防・救急体制の充実に 目指そう

災害の発生や被害の拡大を防ぐため、消防・救急体制の充実に取り組み、安心・安全なまちづくりを目指します。隊員の消防技術の向上や救急救命士の育成に取り組み、田原市に暮らす人たちの安心・安全を守ります。

目標指標

救命講習の受講者数

現状値 (令和4年)

2,971 人

目標値 (令和15年)

>>> 5,000 人

🔥 PICK UP

救命講習を開催し、いざという時に対応できる人を増やしています。他にも、地域の人が団員となって火災予防活動や防災活動などを行う「田原市消防団」や女性目線で啓発などを行う「女性防火クラブ」が活動しています。



取り組みの例②

！ 防災・減災意識を 高めよう

地震や大雨などの災害が増えている中、田原市全体での防災・減災意識を高めます。避難訓練や「避難行動要支援者*」の把握など、災害への対策を正しく十分に行うことで、自然災害に強い犠牲者ゼロのまちづくりを目指します。

目標指標

住宅の耐震化率

現状値 (令和4年)

64 %

目標値 (令和15年)

>>> 75 %

🔥 PICK UP

さまざまな災害を想定し、どんな状況でも対応できるように実践的な防災訓練を行っています。訓練を行うことで、災害に対する考え方や準備、防災の知識の大切さを改めて理解し行動できるようにしています。



👏 市民協働 自主防災会

自主防災会は各地域に暮らす人たちで構成されています。田原市と協力しながら、毎年11月の一斉防災訓練や年に数回開催される防災講習会など、安心・安全な地域づくりに向けた活動を行っています。



用語
解説

避難行動要支援者…

高齢者、障がい者、乳幼児など、防災施策において配慮を要する人(要配慮者)のうち、災害が発生して避難するときなどに手助けが必要な人。

7. 行財政

施策名

- 国際化・多文化共生の推進
- 情報体制の充実
- 広域連携の推進
- 行財政運営

効率的な行財政運営を行い、持続可能なまちづくりに取り組みます。また、海外との交流や田原市のブランド力の向上、近隣市町村との広域での連携を強化します。



取り組みの例①

！ 国籍や文化が異なる人々が手を取り合うまちをつくらう

海外の姉妹・友好都市*との交流や協力活動を通じて、田原市に暮らす人たちの国際理解を深めることで、国籍や文化などに関わらず全ての人が集い、学び、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

目標指標

海外姉妹友好都市との交流人数(累計)

現状値 (令和4年)

2,362人



目標値 (令和15年)

2,900人

PICK UP

NPO法人「たはら国際交流協会(TIA)」では、田原市に暮らす日本人と外国人の交流を目的に活動しています。海外の姉妹・友好都市との交流イベントや日本語教室を開催し、国際化への対応を進めています。



取り組みの例②

！ 市内外で連携して課題解決を進めよう

国や県、東三河8市町村、三遠南信地域、伊勢志摩地域など広域での連携や、産学官連携DXの活用などにより、地域課題の解決を目指します。また、国内の姉妹・友好都市との交流で、人材育成などの機会の提供に取り組みます。

目標指標

設楽ダム建設事業進捗率

現状値 (令和4年)

約47%



目標値 (令和15年)

100%

PICK UP

姉妹都市の設楽町にある「ふれあいの館(グリーンメッセージ)」は、設楽町との交流拠点になっています。他にも、豊川下流域の市が一体となって、設楽ダムの整備促進などに取り組んでいます。



市民協働 各種計画策定委員会

総合計画をはじめ、さまざまな計画をつくる時に、審議会や策定委員会を設置しています。会議には田原市に暮らす人たちや地域、団体や企業などが参加・協力し、意見が反映されるようにしています。



今日からはじめる「まちづくり」

この冊子を通して「まちづくり」には何が必要かわかりましたか？ 田原市全体で行っている取り組みはもちろん重要ですが、一人ひとりの意識がとても大切です。この本で学んだことを活かして、今日からできる「まちづくり」は何か考えてみましょう。

書いてみよう

Q 今日から自分で取り組めることは何かな？

Q みんなで協力すると、どんなことができるかな？

Q みんなが「まちづくり」に取り組んだ10年後の田原市はどんなまちになっているかな？

みんなが考えてくれたことは、とても大切なことです。「まちづくり」に、できることから少しずつでも取り組んでみてください。きっと田原市が、みんなが想像する素敵なまちになるはずです。



発行：田原市 2024(令和6)年3月

〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1

TEL 0531-22-1111(代)

<https://www.city.tahara.aichi.jp>